

# 熱処理技術や生産設備のトータルコンサルティングを目指す (株式会社 東研サーモテック)

## 会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:大阪府大阪市東住吉区桑津5-22-3
- 代表者:川崎 修
- 資本金:8,800万円
- 売上高:139億円
- 従業員数:740名
- URL:<http://www.tohkenthermo.co.jp>

## ①事業概要

### <熱処理加工>

株式会社東研サーモテックは、熱処理専門企業のパイオニアとして昭和2年創業以来、常に新たな技術の開発に努めている。従来の熱処理技術に加えコーティング(PVD等)などの表面加工技術にも挑戦し続け、事業の幅を広げている。同時に海外展開にも積極的に取り組んでいる。

平成7年、熱処理専門企業では初めて海外に進出し、現在はタイ、マレーシア、中国(蘇州)に工場を設立。主に現地の日系企業を取引先として、順調に事業拡大している。平成23年9月には、製造業による中国最大規模の商談会『日中ものづくり商談会@上海2011』に出展。

## ②海外展開概要

### <中国、東南アジアにおける現地法人設立>

平成7年、取引先の海外進出がきっかけとなり、海外でも熱処理加工が必要になるとの認識から、タイへの工場進出を決断。同年、タイの工業団地で現地法人を設立。翌年、マレーシアにも現地法人設立。進出後間もなく、平成9年にアジア通貨危機が起こり、タイパーツが暴落。進出していた日系企業のほとんどが撤退していく中で、当社は現地にとどまり、操業を続けたことにより、新規の取引先を獲得。

その後の景気回復により、再び日系企業が進出した頃には、当社はタイでの実績が認められ、信頼関係を築きあげてきたことで、受注拡大につながった。

## ③取組の重点(活用した支援策を含む)

最初に海外に進出する際は、現地法人の設立方法や機械輸出に関する実務など、様々な情報が必要。当社は現地に拠点のある銀行などから講師を派遣してもらい、社員の勉強会を開き、事前にできるだけ多くの情報を得るようにした。海外展開において、情報収集は最も大切。現地の日系企業との情報交換や、商社、銀行など民間企業に依頼して、マーケティングを行うなど。公的機関の無料の支援も大いに活用すべきではあるが、自分たちのニーズに合った質の高い情報を得るためには、信用あるコンサルティング会社などに、ある程度の費用を払ってでも依頼するのが良い。その後の事業展開をどのように進めていくかを決定する際に非常に重要。

## ④今後の事業展開について

アジア諸国は人件費や関税等が安く、生産コストが低く抑えられるため、重要な生産拠点となっている。主に自動車部品を扱っている当社では、納入先のメーカーや自動車メーカーの海外進出に合わせて、積極的に海外進出している。製品の品質については、日本から製造機械を持ち込み、日本人の指導者を現地派遣しているため、日本での生産とほとんど変わらず安定している。現在はタイで1,200人、マレーシアで100人の従業員を現地雇用。平成23年8月には、自動車部品メーカーが集積している中国・蘇州に進出、生産開始。平成25年秋にはメキシコ アグアスカリエンテス州にて新工場稼働予定。

東研(蘇州)熱処理有限公司蘇州工場新築工程 鳥瞰図



▲中国工場



▲メキシコ工場



▲タイ工場の教育機関・タイトレーニングセンター  
(平成25年1月現在)